

	<b>日本史探求</b>	
--	--------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
地歴	日本史探求	3	2年 文系	詳説日本史探求	新詳日本史（浜島書店）、資料集付録 史料の基礎 210選（浜島書店）

学習目標	日本の原始・古代から室町時代までの歴史を学習する。断片的な知識の習得だけにとどまらず、世界史的視野に立った日本史、また日本から見える世界という視点でこの国の歴史を理解する。
学習の進め方	中学校で学習した内容を理解している前提で、講義、配布プリントを中心に授業展開する。教科書を暗記することに頼らず、授業中の話をよく聞き、出てきた疑問点を解決していく「知の探究」を心掛け、プリントやノートでのまとめ方を工夫するなど有効に活用することでより深い理解が得られる。
評価対象・方法	定期試験を中心に、授業時のグループワーク課題などの提出物等を含めて総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	まずは日本史に興味・関心をもつこと、毎時間集中して授業に臨むことが必須である。その上で、それぞれの時代の大きな流れを理解するとともに、用語集などを活用して基本となる歴史的事象（人物、事件など）を正確に理解していく。余裕のある人は、授業と並行して標準的な問題集などを併用して解いてみてほしい。

	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	<b>第Ⅰ部 原始・古代</b> <b>第1章 日本文化のあけぼの</b> 1. 文化のはじまり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	◎旧石器時代から縄文・弥生時代の文化・社会への理解を深める。 ◎弥生から古墳時代について、大陸の動向に着目しつつ、地域統合の結果ヤマト政権が成立したことについて文献史料を通して理解する。	
	中間試験		
	<b>第2章 律令国家の形成</b> 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家の成立  3. 平城京の時代	◎厩戸王を中心とする推古朝の歴史的意義を考察する。 ◎東アジアの動向とヤマト政権の発展の関連性を確認しつつ、飛鳥の朝廷の特徴を理解する。 ◎仏教とつながりの深い飛鳥文化の特徴を理解する。 ◎隋・唐を中心とした東アジアとその周辺諸国の動向に着目しながら、大化の改新、天武・持統朝それぞれの特徴を理解する。 ◎奈良時代の政変や聖武朝における鎮護国家仏教の特徴について、史料をもとに理解を深める。 ◎大宝律令の成立によって完成をみた律令体制とは何かを知るとともに平城京造営及び奈良時代の政治や社会について理解を深める。	
期末試験			
二 学 期	4. 天平文化 5. 平安朝廷の形成 <b>第3章 貴族政治と国風文化</b> 1. 摂関政治	◎唐を中心とする東アジア文化圏の形成について知る。 ◎国際色豊かな天平文化の特徴を理解するとともに、天智系皇統への交代と桓武朝・嵯峨朝の諸政策について整理する。 ◎藤原北家の台頭と摂関政治の成立の経緯を理解する。	9月スタサポ
	中間試験		
	2. 国風文化 3. 荘園と武士  <b>第Ⅱ部 中世</b> <b>第4章 中世社会の成立</b> 1. 院政と平氏の台頭	◎弘仁・貞観文化、国風文化成立の背景およびこれらの文化が後世に与えた影響について考察する。 ◎律令体制の動揺・崩壊、その後の王朝体制の成立について理解する。 ◎寄進地系荘園の成立から武士の発生にいたるまでの経緯を、社会の変化に着目しつつ理解する。◎院政から平氏政権の成立までを、荘園公領制の確立や武士による在地領主権の強化、二大武士団の成長等に着目しつつ理解する。	11月進研模試
期末試験			
三 学 期	2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化  <b>第5章 武士社会の成長</b> 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭	◎鎌倉幕府成立から朝廷との関係などについて理解する。 ◎執権政治の確立へと至る過程について、封建制の成立、公武二元支配、元寇による動揺、産業と貨幣経済の発展に着目しながら理解を深める。 ◎鎌倉新仏教の成立から、鎌倉文化全般について学習する。 ◎室町幕府の成立、南北朝の動乱と合一、倭寇の活動と日明貿易の開始、蝦夷ヶ島や琉球王国などについて理解を深める。 ◎応仁の乱を契機に守護領国制から戦国大名の分国支配への転換、庶民の台頭と産業の発達について理解を深める。	1月進研模試
	学年末試験		